

福岡電車株式會社勞働争議 第四報

○概況

十月二十二日争議團八十一名が檢束を受けたる爲同日歸郷したる福岡地方合同労働組合常任山崎明次郎並應援無産團體に在りては再三對策を協議し檢束者の釋放を待つて積極的運動を開始したるが會社側の態度強硬にて交渉の餘地なき爲持久戦に入り連日演說會を開き囂露露戰術に出でて市民の同情に訴ふる一方資金募集等に奔走し居りたるも争議團内部に軟論派が生じ従業員にて争議に参加せる四十三名中三十名は會社の呼出に應じ夫々誓約書を入れて就業するに至り激首組に於ても軟派出で統制崩れたる爲遂に益水中央執行委員長松本治一郎代議士に關係を依頼するに至つたのである。状況左の通り

一、争議團體

1、檢束者釋放狀況

十月二十三日檢束者八十一名中四十五名釋放（激首者三名現業員四十二名）さるるや午後二時半より市内楠田神社に集合協議したるも軟論出で今後の對策決定せず争議團事務所引揚ぐ。

十月二十五日午後六時五名釋放同二十六日二十名同三十日九名釋放され曉る福岡地方合同労働組合幹部岩田正夫、福島日出夫は同三十一日業務防害の命令狀執行送局さる。

2、演說會狀況

應援團體たる全農福佐、益水、合同労働等制在福無産團體協談會或は福岡電車争議應援團争委員會等の名目を以て争議團と共に十月二十三日以降同二十八日迄連日演說